



発行日：令和二年一月九日（木）
発行所：とちぎコミュニティ基金

たかはら日和刊行にあたって。

この度、「たかはら子ども未来基金」にて助成を頂き、NPO等の団体でインターンを行っている学生達の声から、このような紙面発行の案が挙がりました。それぞれインターンをしているけれど、中々互いに交流が図れない、もっとこの活動の様子を外に伝えたい。学生同士のような思いを発端に、「たかはら日和」が生まれました。

「たかはら日和」では、二〇一九年度インターン生の活動の様子等を紹介していきます。温かな気持ちでお読み頂けたら幸いです。

子どもや若者の未来を応援する目的で、矢板市在住のご夫妻が設立した、「たかはら子ども未来基金」。
わたしたち学生と、NPOや市民活動団体（四団体）をつなぎ、共に成長できる仕組みです！
ホームページ：たかはら子ども未来基金助成ーとちぎコミュニティ基金
<https://www.tochicomi.org/subsidy/takahara/>

♡インターン生紹介♡

十二月号では、二〇一九年度たかはら子ども未来基金にてインターンを行なっている学生を紹介します。
今年度は、四団体、五名の学生でインターンが行われます。インターンにかけける各々の意気込みをお届けします。

写真



- ① 名前
- ② 所属
- ③ インターン先
- ④ 意気込



① 稲川夕梨（いながわゆうり）
② 宇都宮大学地域デザイン科学部三年
③ 社会福祉法人とちぎNPO 子ども居場所アットホームきよはらアットホームきよはらは、様々な理由から大変な状況にある子どもたちが週に数回放課後に集まって、みんなで一緒に遊んだり、ご飯を食べたり、お風呂に入ったりする場所です。そこでは子ども同士だけでなく、その場を支えてくれる優しい大人たちとの関わりもあります。

④ あなたの当たり前は隣のあの子には当たり前じゃないかもしれません。
私はこのインターンを通して、居場所に来る子どもたちに、多くの子が家や地域で体験することを少しでも体験する機会をつくりたいと思っています。そのため今は、居場所の人以外の人々と関わることのできるイベントを大山さんと企画中です！応援よろしくお願ひします！



① 大山春香（おおやまはるか）
② 宇都宮大学地域デザイン科学部一年
③ 社会福祉法人とちぎNPO 子ども居場所アットホームきよはらアットホームきよはらは、放課後にさまざまな背景を持つ子ども達が集まり、一緒に遊び、お風呂に入り、ご飯を食べる過ごします。

④ 子ども達と年齢が近いからこそ、分かること、共感できることがあると思います。そういった気づきを大切にしながら残りの時間を過ごしていきたいです。また、多くの子が経験している事を一緒に経験するだけではなく、アットホームきよはらに来るからこそできることも子ども達にはたくさん経験してもらいたいです。そのためのイベントを現在、稲川さんと企画中です！



① 會田未来（あいたはるか）
② 白鷗大学教育学部四年
③ 一般社団法人えんがお（栃木県大田原市）えんがおは、「高齢者の孤立の予防と解消」を実現するために、若者を巻き込んで地域の仕組みづくりを行っています。

④ 私は、このインターンで主に二つの目当てを立てました。①学生サポーターとして関わっている時には中々見られなかった、裏側の部分であるスタッフの動きを見たい。②えんがおに、小さな子どもも集う景色づくりをしたい。これらを通して、今まで以上にえんがおと深く関わりたい思いでインターンの挑戦を決めました。今は、週に二日ほど通い、生活支援等の活動体験をさせて頂いたり、えんがお図書館という一つのプロジェクトを担わせて頂いたり、楽しく取り組んでいます！終了までに、少しでもえんがおの景色づくりの力になれるよう、頑張っていきます！



① 桂野葵（かつらのあおい）
② 宇都宮大学地域デザイン科学部三年
③ サシバの里自然学校
サシバの里自然学校では、里山の景観や生物の保護観察を行いながら、子どもたちの自然学習の場としての活動にも取り組んでいます。中でも小学生を対象とした「子どもキャンプ」や「生きもの塾」では、学年にとらわれることなく、生き物好きの仲間同士として互いに尊重しあう姿が印象的です。

④ 日常生活で自然とふれあう機会が少なくなった今、子どもたちの学びの場、遊びの場を守ることはとても重要だと思っています。自然学校を訪れる子どもたちの姿を見ながら強く実感しました。
そのような好奇心に溢れる子どもたちと、一緒に里山でのびのびと遊んでみませんか？自然学校では体験プログラムのお手伝いをしてくれる学生ボランティアさんを募集中です！そこで、学生さんに自然学校を知ってもらえるような企画を考えていきたいと思っていますので、応援よろしくお願ひします！



① 岡浜陸（おかはまりく）
② 白鷗大学法学部法律学科三年
③ たかねざわぼかぼか食堂
自分がお世話になっているたかねざわぼかぼか食堂では、地域の年配の方や子供達みんなと同じご飯を食べようという方針で活動しています。両親が共働きなどで家族で食卓を囲めない子供達に、楽しい食事をという事で、私は主に食事の準備、子供達と遊ぶといった活動を担当させていただいています。

④ 口頃から活動を共にする子供達との交流が多いのですが、普段では見ることのできない子供たちの一面、普段話さない学校の話などを聞いていて、子供は子供ながらに考えて動いているんだなと実感します。そんな子供と遊んでおいしいご飯を食べて、子供の成長を間近で見ることが出来る、そんな貴重な体験をさせて戴いて本当に感謝しています。残りの活動期間は短いです、子供達との交流をさらに深めていきたいです！

